

ねあらい
学園だより

浜松市根洗学園
住所：〒433-8108
浜松市北区根洗町667-1
TEL:053-436-9318
FAX:053-436-9326

在籍児 76名(3月17日現在)
◇毎日通園 年長児15名 年中児27名
年少児30名 2歳児4名
◇選択通園 らいおん38名
フレンズ25名 子じか71名
◇親子教室ねあらい 68名



年度の終わりに

今年度は15名の卒園と49名の進級、13名の転園が決まり、次年度へ支援目標の確認や、引き継ぎが行われています。1年間、保護者の皆様や関係機関のご理解・ご協力を頂きましたこと、心よりお礼申し上げます。

毎年この時期になると、「子どもにとって良い体験や環境づくりをどれだけ行うことが出来たのだろうか?」、「家族の思いや願いをどれだけ一緒に考えて進められたのだろうか?」と職員皆で考えます。忙しさを言い訳にしていなかったらどうかなど、振り返ることで次に向かっての方向性を考えていきます。そして、再度、子どもにとって良い体験や環境を考えた時、『人は人の中で育つ』ことを大事にしていきたい。様々な特性や個性を持っている子どもたちが「**したい。」「**やりたい」の気持ちを持って行動したり、「**したくない」「**いやだ」と意思表示した時、「**は嫌なんだね」と気持ちを汲み取り、「・・はどうか～」と子どもが動けるのを一緒に待ち・考え・やり取りしながら動く。そこには、必ず職員や友達がいて、心と体が動き出します。“しゃべらないから分からない”ではなく“しゃべらなくても感じている”ことへの関わりが、学園の子どもたちには大事なと感じています。しゃべらなくても、表現の方法が上手く伝えられなくても、“子どもが感じている事”を『読み解く』私たちでありたいと思います。読み解く人のいる環境を整え、コミュニケーションの育ちや、体を動かし、行動のまとまりを育て、子どもたちが子どもらしく育つ姿をを共有できる居場所になっていきたいと考えています。

さらに今年度は、『引き継ぎ』に関しても大きく変わりました。学園に関わった子どもたちの学校への引継ぎが仕組みとなって市全体が動き始めました。毎日通園の年長さんに関しては、これまで、バトンタッチとして学校の先生の来園交流を通して行われておりました。今年度からは、併行通園の子ども達も『かけはしシート』の書式にのっとり、発達級・通常級への就学校への文書が保護者の確認の上行われ、今後、学校の中でも進級する度に申し送りされていくというものです。学園では50名・29校へ直接訪問しています。転園についても、慣らしを含めた併行通園によって決定を丁寧に考える取り組みも行われました。つながる・つなげる・連携していくための方法にもバリエーションが増えてきました。このことが、活かされ、子どもにとっても良い形になってつながっているのかを検証していくことが大事になっていくと思います。学園内でも同様です。

どうか、各ご家庭でも、子どもとの1年を振り返り、これからに向かって一緒に考えて下さい。そして、感じたこと・考えたこと等忌憚のないご意見を聞かせて頂けますようお願い致します。

施設長 松本 知子





当面の予定

3月31日（金） 通園日 短縮日課

（13時30分降園バス出発・お帰りの時間が1時間早くなります）

新年度ガイダンス 10時30分から11時30分 場所：そうの部屋

年間予定表・バスコース表等配布、4月利用予定表提出、保健アンケート提出など

4月 4日（火） 始業式（通常日課）

4月 5日（水） 入園式（進級児は休園日です）

4月 6日（木） 新入園児療育開始（～11日まで母子通園）、避難訓練

4月 7日（金） 内科検診（もも・みどり）

4月11日（火） 内科検診（きい）

4月14日（金） 誕生会

4月18日（火） ももグループ親子療育（スキップ）ももグループ親子はお弁当

4月19日（水） みどりグループ親子療育（スキップ）みどりグループ親子はお弁当

4月20日（木） きいグループ親子療育（スキップ）きいグループ親子はお弁当

新年度の持ち物：ぞうきん1枚、手拭タオル1枚、ティシュペーパー1箱、防災頭巾

着替えストック、（必要に応じてご用意ください）、上靴

*持ち物には記名をお願いいたします。



実習・ボランティア



今年度も多くの実習生やボランティアさんが根洗学園に来てくれました。実習では、保育士や社会福祉士、作業療法士を目指す学生さんが10日間から6週間子ども達と一緒に過ごしました。ボランティアでは、平日の療育時間内のあそびボランティアやにじいろクラブ等余暇支援のボランティア、サマースクール等に参加していただきました。子ども達は「〇〇先生はどこ部屋？」と楽しみに話しかける子やボランティアさんに照れながらも帰りの着替えをする子もいました。来年度も多くの人とあそび、「いつでも・どこでも・だれとでも」できる力を育てていきましょう！

	実習	ボランティア
前期	91名	83名
後期	20名	26名
合計	111名	109名

☆実習・ボランティアさんの感想☆

◎子どもの楽しそうな笑顔を見ることができ、楽しかった。初めは泣いていた子も最後は「お姉さん、バイバイ」と言ってもらえて嬉しかった。

◎走ったり、ボールあそび等もっと一緒にあそんでみたいと思いました。

☆ボランティアに参加して下さった方々☆

育成会ボランティア研修の方々、聖隷クリストファー大学のみなさん、浜松学院大学のみなさん、根洗町婦人部のみなさん、常葉大学のみなさん、サマーショートボランティアのみなさん

三方原幼稚園親子交流



今年度の三方原幼稚園親子交流は4回行われ、計54組参加していただきました。外では遊具あそび、砂あそび、泥んこあそび、玉入れを行いました。室内では、発表会の歌や楽器演奏を披露してもらい、一緒に歌ったり踊ったりしました。継続して参加することで子ども達同士が顔を覚え「あっ、あの子知ってる」や「一緒に行こう」と部屋の移動の際に声をかけ合う姿が見られました。「初めは恥ずかしがっていたけれど幼稚園のお友達から「一緒にあそぼう」と声をかけられて手を繋いで一緒に歩いていく子どもの姿を見てとても嬉しかったです」「学園とは違ったあそびやお友達とのやりとりが見られて新たな子どもの一面が見られました」とお母さんから感想をいただきました。来年度もたくさんの参加をお待ちしています！



三方原幼稚園来園交流

今年度は、6月8日と11月17日に三方原幼稚園の年長さん30名、2月2日に年中さん15名のお友達が根学学園に来てくれました。さいGみどりGの2グループに分かれて活動を行いました。6月は電車ごっことむっくりくまさん、11月は台風の目（集団あそび）とえっさほいさ（運動あそび）、2月は綱引きと鬼ごっこを行いました。子ども達同士が「お名前は？」と聞いてやりとりをしたり、学園で普段行っている活動のため学園児が「こうやるんだよ」と幼稚園のお友達に教える姿が見られました。最後は全員プレイルームに集まって幼稚園のお友達からの歌のプレゼントとリズム（体操）を踊りました。知っている歌と一緒に歌ったり、手を叩いたり、踊ったりしました。さよならタッチでは「また来てね」「バイバイ」と職員の促しや声かけがなくても子ども達同士でやりとりをする姿が見られました。今後も子ども達同士と一緒にあそんだり、活動の中でやりとりをする機会を職員が間に入ってつくっていきたいと思います。



からだあそび教室



今年度は、平日に全グループを対象にした『からだあそび』を、78名対象に10回実施、延べ850人に実施しました。また土曜日と平日にさい・みどりグループを対象にした個別の『からだあそび教室』を実施し、20名を対象に10回実施し、延べ200人の参加でした。

『からだあそび』では、プレイルームに太鼓橋やブランコ、脚立を使用したジャンプ台などを設定してあそびました。普段あまり経験ができないような高さや揺れのあるものは、最初「いやー！」と言っている子もいましたが、少しずつ職員が誘いかけて経験を積んでいくと自分からすすんであそびいくようになりました。設定してあるあそびの中で、自分の好きなあそびを見つけることができ、時間いっぱい身体を動かしてあそぶことができました。土曜日に実施している『からだあそび教室』では、平日と同様プレイルームに遊具を設定し、子どもたちの課題に合わせてグラウンドでかけっこをしたり、中庭で三輪車等も使ってあそびました。また箸の練習操作をするなど、個室も使用して行っていました。利き手がどちらか難しいというお話や苦手なあそびにも取り組んでほしい等お話を聞きながら、お母さんやお父さん、ご家族の方も一緒に参加していただきました。あそんでいく中で「今まで苦手でやりたがらなかったのに」「すごい！できるじゃん！」と、苦手なやりたがらなかったものも取り組む姿が見られました。

一見普通にあそんでいるように見えますが、その子に必要なニーズ（高いところが好き、思いきり身体を動かしたい等）をあそびの中で満たし、気持ちを落ち着かせることにつなげたり、その子に必要な身体の力（お腹の筋肉が弱い、指先の使い方が不器用等）を向上させていくことで生活面の力につながっていきます。身体を動かしてあそぶこと・楽しむことは、子どもたちにとって一番の身体の育ちにつながります。お家でもたくさんあそんであげてください！



お別れ遠足



ももぐるーぷ

2月16日、ももグループのお別れ遠足はいちご狩りとうなぎパイファクトリーに分かれていきました。うなぎパイファクトリーでは、到着するとお菓子の甘い香りに子どもも大人も歓声をあげ早足になりました。ガラスに顔をくっつけて流れるベルトコンベアーの動きに見入って、お母さんに先を促されても「だめ！」と、もっと見たいアピールをする子もいました。いちご狩りも、ビニールハウスを開けると、いちごの香りに誘われました。子どもの手の平ほどもある大きないちごがたくさんありました。柔らかい実を潰さないよう、お母さんに手渡す姿が見られました。帰園してからは、グラウンドで、<1年間楽しかったね。>の会をしました。皆でバルーンを持ち、音楽に合わせて動いたり、膨らんだバルーンの中に入ったりして、賑やかな時間を過ごしました。

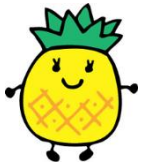
きいグルーぷ

きいGのお別れ遠足は、天竜浜名湖線に乗って、フルーツパークに出掛けました。天竜浜名湖線気賀駅に「きっぷ?」「やる!」と元気いっぱいの子もたち。そこで、親御さんに抱っこしてもらって、「ここを押すんだよ」と券売機の使い方を教わりました。「でてきた!」と自分で買った切符に目を輝かせました。乗った電車は、今の一押し「井伊直虎号」。車窓からの街並みや田畑をお友達と靴を脱いで座席にのぼって眺めたり、親子で静かに座って電車の揺れに身を任せました。駅からフルーツパークまで800Mの登り坂。お父さんお母さんやお友達を誘い合って手を繋いで歩きましたね。

フルーツパークでは熱帯果樹温室に入り、南国の大きな葉っぱや珈琲のお花、鮮やかなランの花に目をぱちくり。「ここはあったかいね」と冬の寒さとの違いに気付く子もいました。

昼食はレストラン「ペルレ」で。親御さんと一緒に、注文の列に並び、「うどん」「焼肉丼」等を頼みました。料理が出来上がって、自分の番号が呼ばれると、手を挙げて「はい」とお返事する子もみられました。お昼を済ませると、「フルーツオーケストラ」ヘレッツGO。『親子でパイナップルすべり台2回』のノルマ達成者続出!!遊具に向かって一目散で走って行く子をお母さんが追いかけたら、同じ遊具であそび続ける子に「他にも遊具があるよ、一緒にやってみようよ」とはたらきかけるお父さんの姿もありました。

天竜浜名湖線で気賀駅に着くころには、若干の疲れが見られましたが、駅員さんへ切符を渡すために、「順番だね」と列を作れたきいGのみんな。春・秋の遠足より、親御さんとのやりとりやお友達との関わりが増えた遠足でした。皆様お疲れさまでした♪



みどりグルーぷ

2月14日(火)みどりグループは遠州鉄道、通称赤電に乗って美園中央公園に行ってきました!楽しみにしていた公園では、「お母さんとたくさんあそぶ」をテーマに、数々の遊具に挑戦する子ども達。はじめは見ていたお母さん達も子どもたちに手を引かれ、オニの職員に追いかけて、遊具の上や下をたくさん走って、公園を出る頃には親子そろって息も切れ切れでした。

お昼ご飯のお好み焼きは、アツアツの鉄板を目の前に、お母さんと一緒に作りました。具材を混ぜたり、へらを一緒に持ってひっくり返したり、ソースを塗る担当を子どもに頼んだり、ワンポイント定め、子どもに手伝ってもらっていました。お腹がいっぱいになったら、公園で終わりの会。「たくさんあそんだ後でもしっかり歩く事ができました」「公園を出る時は抱っこを求めてきたけど、最後まで歩きました!」とお母さん達からの褒め褒めシャワーの後、ハグをして今日一番のご褒美をもらった子ども達でした。お母さん達も1年間親子療育の参加ありがとうございました。これからもスキップするような気持ちで子どもとの時間を楽しんでいってくださいね。



ももグループ にじいろクラブ



今回のにじいろクラブは、都田・細江図書館へ行き、絵本を1冊借りに行きました。

図書館へ入る前から「しっーだよ」と声を掛けたり、ゆっくり歩きながら入るようにしたり等各家庭で図書館での約束を守るための工夫が見られました。図書館に来たことがある子は、自分から本棚へ手を伸ばしどれがいいかなと選ぶ子もいました。初めての子は、本を出したりしまったりする動作が楽しくなったり、自分では選ぶことが難しかったりする子もいましたが、参加した全員が1冊の絵本を決めて借りられることが出来ました。

学園へ戻ってからは、『やまねこさん』がクイズやお話のパネルシアターをみんなに披露して下さいました。クイズでは、「わかるひと〜？」と聞かれると「はい！」と手を挙げる子や前に出て恥ずかしながらも答えを自分で言うことができ、子ども達も一緒に参加しながら楽しむことが出来ました。パネルシアターでは、太鼓の音が鳴ると部屋が静まり、楽しい時には、大きな声で笑い、親子で楽しみながら見ていました。

にじいろクラブでの体験を生かして、是非お休みの日には図書館へ足を運んでみて下さいね。こんな絵本を借りてみたよ等エピソードお待ちしております！！



♪音あそび♪



松岡先生の音あそびでは、小さな音に耳をすませるということを大切にして行なってきました。水、どんぐりなどの木の実、新聞紙、輪ゴムといった身近な物を転がしたり、落としたり丸めたり、弾いたり、いろいろな手法で音を出して聞きました。同じ素材でも手法によって音が違うことも子ども達にとっては不思議な発見でした。木の実をこすり合せたり、新聞を踏んだり、自分で見つけた方法で素材に触れ、音を聞かせる子もいました。ひとしきり音に親しんだ後は、<ハモン>を聞きます。ハモンとは打楽器で、部屋中神秘的な音に包まれます。ハモンが出てくると、終わるんだと回数を重ねて理解した子ども達。椅子に座って聞き入ります。初めは、この音が苦手だった子も今では、ハモンをじっと見つめたり、職員と目が合うとほほ笑んだりしながら、聞いています。1年間で色々な音に出会いましたね。



手作りクラブ

平成28年度の手作りクラブは年間を通じて10回行われ、延べ60名（在園児55名、OB5名）のお母さん方が参加をしてくださいました。

今年度は、職員からリクエストがあった「はらぺこあおむし」の大型紙芝居に加え、廃材を利用した積木と絵カードを作成してくださいました。最終回となった3月の誕生会の中で、大型紙芝居の披露と贈呈式を行いました。いずれも療育の中で大切に使用させて頂きたいと思います。

また年間を通じ、お母さん方から「他のお母さん達と関わる機会を持てて楽しかった！」という声を頂くことができました。ご参加頂いたお母さん方、本当にありがとうございました！



アート



アートプロジェクトの仕掛け人でもある深澤孝史先生が2月20日～3月3日まで ねあらい学園に滞在して子ども達とアートを楽しみました。今までに『おべんとう画用紙（子ども達の書いたおべんとうの絵をお母さんが実際にお弁当にして再現する）』等ありますが覚えていますか？

朝着替えが終わった時、あるいは中庭で、時には帰りの着替えの後、クレヨンと紙を持って現れる…。深澤先生が絵を描きだすと子ども達もお絵描きを始めていました。紙いっぱい色をかえての殴り書き、子ども達の好きな車、動物の絵等いろいろです。どれもみんなすてきな作品。「好きな所に貼ろう！」とテープを取り出すと黒板や窓ガラスに思いおもいに貼っていました。するといつものお部屋はアートのお部屋に変わりました。自分の絵が飾られて嬉しそうに指をさす子ども達の姿が印象的でした。

中庭に登場したのは『絵本はうす』、時には『ダークエンゼル号』『くれよんはうす』『うごく家』『みんなのいえ』といろいろな『名』を持つ白い家。白い家の壁にも床にも子ども達の絵が描かれています。そして中に入るとわかる謎の『あな』。子ども達はその穴に向かって「おえかきせんせい。」と叫んだり、覗いたり、クレヨンを落としてみたり子ども達にとっては魅力的な『あな』のようです。動き出すとまた素敵、窓や穴からの景色が変わります。絵本はうすの中に入ったり動かす側になったりしながら、深澤先生と楽しみました。

この『絵本はうす』は中庭に置いてあります。今後は「思いっきりお絵描きできる部屋。」「子どもの作品の展示室」等いろいろ場所を変えながら（移動できるので）活躍すると思います。これからが楽しみです。ありがとうございました。



平成 29年 4月の予定献立表



日	曜	献立名	主要材料	熱量 kcal	蛋白質 g	脂肪 g	食塩 g
4	火	ご飯(味付け海苔) 鶏の唐揚げ バナナ	味噌汁 スパゲッティサラダ ミニトマト 牛乳	560 15.6 18.5			1.4
6	木	ロールパン 鮭ムニエル 人参ゼリー	豆乳スープ ツナサラダ 牛乳	508 18.8 21.3			1.7
7	金	たけのご飯 豆腐ハンバーグ ウエハース	味噌汁 春雨の和え物 のむヨーグルト	561 20.5 12.2			2.3
10	月	焼きそば ささみと大豆サラダ ドーナッツ	きのこスープ 南瓜のおかか煮 りんごジュース	555 21.8 15.4			2.4
11	火	ご飯(しらす) 鶏肉の照り焼き 大学芋	なめこ汁 五目きんぴら 牛乳	549 19.6 14.1			2.3
12	水	食パン キッシュ 豆乳チョコプリン	クラムチャウダー 野菜ソテー ラブミー	512 17.9 18.5			1.8
13	木	ご飯 厚揚げの肉味噌炒め ヨーグルトケーキ	おでん ゆでスナックエンドウ りんごジュース	563 17.5 17.7			1.8
14	金	エビピラフ いんげん胡麻和え 誕生日ケーキ	中華スープ じゃがいも素揚げ 牛乳	523 16 14.3			1.8
17	月	ご飯(きなこふりかけ) 海老天 みかんゼリー	味噌汁 切干大根ナポリタン 牛乳	549 20.2 15.8			1.9
18	火	ハヤシライス マカロニサラダ オレンジ	キャベツスープ ミニトマト ラブミー	524 21 19.2			2.3
19	水	きのこご飯 白身魚ホイル焼き おにぎりせんべい	すまし汁 ゆでスナックエンドウ アソッドミルク	503 18.2 6			2.3
20	木	食パン ポークビーンズ きなこ豆乳プリン	白菜スープ ハウレンソウソテー 牛乳	547 13.2 14.3			1.9
21	金	きつねうどん 炒り鶏 きなこ餅	ゆで卵 りんごジュース	513 19.5 11.4			2.2
24	月	黒糖パン 魚のカレー揚げ ミルクプリン	野菜スープ ビーフソテー 牛乳	497 18.2 16.8			1.9
25	火	三色丼 シーフードサラダ さつまいもバター煮	春雨スープ のむヨーグルト	501 18.1 12.8			1.6
26	水	牛丼 おからサラダ 杏仁豆腐	わかめスープ 野菜ジュース	547 18.8 22.7			1.6
27	木	スパゲッティミートソース カニサラダ バナナ	もやしスープ 牛乳	498 16.3 12.8			2
28	金	ご飯 里芋の中華煮 フルーツあんみつ	味噌汁 厚焼玉子 ラブミー	499 19.7 9.3			1.4

学園の給食に慣れよう

乳幼児期は「食習慣の基礎がつけられる大切な時期」です。
この頃の食体験が一生の嗜好や食習慣等を左右するといわれます。
学園の給食は成長期に必要な栄養素のバランスだけでなく、
季節感のある旬の食材も取り入れています。
家庭で食べたことの無い味や苦手な食べ物との出会いもありますが、
このような経験を繰り返して、いろいろな食べ物の味に慣れ
“素材の美味しさ”“食事の楽しさ”を感じられるようになって欲しいと思います。

みんなで食べると
おいしいなあ、
たのしいね

